



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
あずさ部部長主題 「未来のために行動しよう」
東京西クラブ会長主題 「居心地の良いワイズライフを楽しもう」

2025 年 6 月号

NO 585

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。
これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。
テサロニケの信徒への手紙 5章16～18節

2024-2025 年度活動雑感

神谷幸男

知的・体力的に危ぶまれた会長職を務めさせていただいたこの1年の活動？は決して満足し得るものではなかったが、会長主題に「居心地の良いワイズライフを楽しもう」を掲げ、目標は達したかと自己評価した1年であった。

例会出席率年間平均95%は全てを表しているわけではないが主題で謳ったワイズライフを実現できたと思って良いであろう。平均年齢85歳以上、無職、病气持ち、しかし健康に日常生活を送っている世間的には豊かな余生の世代集団（担当主事を除く）としては上出来だ。

また、来会出席率のハイレベルは個人のやる気に加えて例会の楽しさだ。特に今期は東京武蔵野多摩クラブ、東京たんぽぽYサクラブとの合同例会を行うこととなったことも大きい。会食の質もいい。会食は弁当であるが当クラブでは伝統的にブランド品を用いてきた。来年度も無理せずにこの線を踏襲していこうと思う。



写真上はパーティーにおける森田さんのテーブルで撮ったもの。森田さん夫妻と岡本都さん、吉本さん夫妻（熊本クラブ、熊本ジェーンズ）神戸西の3人と神谷さん

DBC京都ウェストクラブ45周年記念例会に参加

45周年記念例会は5月10日（土）12:30から15:00まで京都市の北部比叡山の玄関口、国際会館に近いホテル、エクシブ京都・八瀬離宮で行われました。第1部は記念式典。来賓あいさつはYMCA、ワイズ関係者のみでした。第2部は記念パーティー。ご馳走は中国料理、アトラクションも手作り。特異なところは、京都ウェストメンバーは男性も全て和（P3中段に続く）

クラブ役員

会長 神谷 幸男
副会長 本川 悦子
書記 村野 絢子
会計 篠原 文恵
担当主事 横山 弥利

5月の記録

在籍者数	12人	武蔵野多摩	3人	ニコニコ	0円
出席者数	9人	たんぽぽ	3人	クラブファン	0円
メンバー	0人	ビジター	1人	ファン	残高 44,715円
出席率	83%	ゲスト	0人	ホテルファン	4,500円
ZOOM参加	1	出席者合計	18人	ホテル残高	62,495円

6月合同例会のご案内

強調テーマ： YMCAサポート、評価、
次年度計画

今月は東京たんぽぽ Y サクラブ担当主事を務めることになった望月温さんによる、YMCA 留学生の動向を紹介いただきます。

その後、今期の締めくくりとして参加者からの評価と次年度に向けてのご意見を伺います。

日時：6月12日(第2木) 18:30~20:30

会場：東京YMCA山手センター 303号室

会費：1,200 円

HAPPY BIRTHDAY

23 日 渡辺 大輔

受付 藤江・山口・篠原
司会 服部 節子
一 同

会食

19:00~

開会点鐘 東京たんぽぽクラブ会長 小原史奈子

いざたて 一 同

聖書朗読・祈祷

開会挨拶・ゲスト・ビジター紹介

卓話 強調月間：YMCAサポートより

YMCAの留学生動向紹介

東京たんぽぽ担当主事 望月 温さん

評価 次年度に向けて 一 同

ハッピーバースデー 渡辺 大輔

ワイズ報告 各 会長

YMCA 報告 各担当主事

ニコニコ 一 同

閉会点鐘 東京西クラブ会長 神谷 幸男

ー5月事務会報告ー

日時：5月22日(木)

16:30~17:30

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：石井、大野、神谷、篠原、
本川、村野絢、村野繁

<報告事項>

◇5月例会報告・会計報告承認

◇次期以降における定款の変更の概要説明。

◇次期以降の例会日程：3クラブ
合同で行い、毎月第3木曜日に行う。

<協議事項>

◇ブリテン6・7月号編集相談

◇例会は、1/3はYMCA関連、1/3は世界の動き、1/3はお楽しみで行いたい(神谷会長)。

◇7月例会の相談

卓話者として候補者2人が挙げられた。承認されたので会長が交渉に当たる。

◇ワイズ集会参加予定者：

DBC京都ウェストクラブ45周年
記念例会(2025.5.10)：

神谷、高嶋

第28回東日本区大会(2025.6.7)

神谷、篠原、高嶋、村野絢、村野繁

第31回アジア太平洋地域大会

(2025.8.1~3) 神谷、篠原、高嶋、本川、村野絢、村野繁

(書記・村野 繁)

在京ワイズ・クラブ会長

5月24日(土) 10:00~11:

30 山手コミュニティセンターにて開催され、神谷が出席した(担当主事波々壁さんは業務の都合で欠席)。

星野太郎新総主事のごあいさつと事業報告、会員部運営委員長・蒔田敏雄さんの会員部報告、次回会長会日程としては未決であるが恒例によれば在京ワイズ新年会の直前に行われるから2026年1月10日(土)の可能性が高いとのことでした。

次期会長会幹事は、小原史奈子さん(東京たんぽぽ)と伊藤幾夫さん(東京多摩スマイル)に決まったこと、運営費3,000円を6月末日までに納入されたいこと、等があつて定刻11:30に散会した。

全12クラブの出席、24人が出席した。(神谷幸男)

YMCA会員大会で
吉田さんが名誉会員に

YMCA会員大会で、表彰を受ける
吉田明弘さん(壇上)

5月24日(土)、東陽町センターで開かれた第22回YMCA会員大会で吉田明弘さんが60年にわたるYMCA活動の名誉会員として表彰されました。

1966年、東京目黒クラブ入会以来、杉並センター運営委員長、西南地域センター運営委員、東日本区ヒストリアンなどを務められたことに対しての顕彰です。

大会参加者は、吉田明弘、高嶋美知子、本川悦子の3人でした。(本川悦子)





写真上は、東日本区次期理事・山下真さんをお迎えした6月合同例会、右はあずさ部評議会の集合写真



ー 5 月 合同 例会 報告 ー

5月8日（木）18時30分から東京山手センター303教室にて東京武蔵野多摩クラブ、たんぽぽクラブ、東京西クラブによる3クラブ合同例会が行われました。

卓話は、次期理事の山下真さん（十勝クラブ）に遠路北海道から来ていただき次年度の活動方針についてお話をしていただきました。基本的には現理事山田公平さんの方針を踏襲継続するとお話されました。

○クラブライフの充実、（部を超えた合同例会、プロボノリストの活用など）

○会員増強

○財政の健全化

など様々な困難な課題に責任をもって取り組んでいきたいと仰っていました。

この後ハッピーバースデー、各種報告、東京たんぽぽクラブ会長小原史奈子さんの閉会点鐘で閉会しました。（本川悦子）

出席者：＜メンバー＞宮内・山口・渡辺（東京武蔵野多摩）、小原・服部・望月（東京たんぽぽ）、石井・神谷・河原崎・篠原・本川・村野絢・村野繁・横山・波々壁（東京西）、＜ビジター＞山下真（卓話・北海道十勝）、＜ZOOM＞中村吉孝（東京武蔵野多摩）

あずさ部富士北麓評議会

5月10日（土）、富士吉田青少年センター・赤い屋根にてあずさ部評議会が開かれました。

◆第1号議案 山口直樹次期部長からの2025-2026年度部長

活動方針の承認

◆第2号議案 あずさ部部則、施行細則、旅費補助の内規改定承認（役員活動費や旅費補助等を削減）

◆第3号議案 2025-2026年度予算承認

◆第4号議案 あずさ部監事任期は2年から1年に変更

この他、

◇評議会は年に2回に、部報はメール配信に変更

◇半年報・各献金は区事務所に直接報告

◇YVLF等、ユース育成資金の負担額は人数割りにする

など、メンバー減少・高齢化しつつある役員負担を減らすための大胆な改革だが、災害救助応援、特別事業費のファンドなどは変わらぬ方針を示されました。

評議会が終わり、富士五湖クラブ・望月勉さんによるミニ卓話「剣丸尾赤松林の構造と歴史」のあと記念撮影、懇親会では弾き語りミニコンサートもあり午後3時に閉会しました。

富士五湖クラブの皆様、有難うございました。当クラブからの参加は本川・篠原の2人でした。

（篠原文恵）

（P1から続く）

服姿。最寄りの地下鉄駅の構内での案内人も和服姿で、正直びっくりしました。会場へのシャトルバス待合所に着いたとき、大阪西、神戸西の人達もすでに来ていて第1便で一緒に会場へ。会場には開会1時間前に到着して、中庭

での抹茶のサービス、能登半島被災支援にドネーションして人力車上の人になった姿の会長さんとの記念撮影サービスを楽しみながら久しぶりに会う旧知の方々と長々と談笑、旧交を温め合いました。人力車で庭園の一部でも回ってくれるのかと思いましたがそうではなく乗って座っただけ、ちょっとがっかり。定刻となり会場へ。式典、パーティーは前記した通り。

出席者名簿を見ていたら懐かしい人のお名前がお2人載っていました。お1人は京都ウェストクラブOBの欄に。川戸徳郎さんとお知り合いになったご縁は、年次は覚えていませんが20数年前の日本区大会での表彰式があった時からのお付き合いでした。当時川戸さんがBF事業主任で私がクラブ会長で、東京西クラブがBF部門の確か3つの下部部門で表彰された時がありました。数分間でしたがその後の話等で旧交を懐かしみました。写真を撮り忘れたのが残念です。お1人は当日急用とのことでご欠席のため残念ながらお会い出来ませんでした。

（神谷幸男）



写真上は式典開会前のホテル中庭での「おもてなしアワー」の1コマ。和服姿の男性は京都ウェストクラブのメンバー

日々の中から 小さな命の帰る家

村野絢子

朝の散歩の途中に永福南キリスト教会がある。そこの掲示板の言葉が気になった。「小さな命の帰る家」松原宏樹。3日目に時間があり、その記事を読んだ。第2回「父となる決心」とある。数日後その教会の友人に会い衝撃を受けた話をすると、5月号のクリスチャン新聞をくださった。

6年前、松原さんは突然の連絡を受けた。『おなかの赤ちゃんに障害が見つかりました』。ダウン症の兆候と心臓に大きな穴があることが分かったという。『もし生まれればこの子を殺し、上の子を殺して自分も死にます』と訴えます。私は『おなかの子どもをもらってくれる家庭は存在します。だから安心して出産してください』と答えた。

小さな命の帰る家では養育困難な子どものいる保護者からの相談を受けているが、この働きを始めるとき、一番障害が重くて帰

る家のない子どもは自分が受け入れる、と決心していた。神様が最低の罪人である私を、そのまま受け入れてくれた愛に少しでも応えたいと考えていた。

その子は1か月の早産で生まれた。名前は『大和』、ダウン症、心臓中心部に穴・血液の大部分が逆流しチアノーゼを起こし、集中治療室を出ることはできない。退院するには最低2回の手術がそれ以上と指摘されていた。この子を特別養子として受け入れてくれる家庭はなかなか見つからない。ある日、病院から『大和君のご両親が1回目の手術に同意してくれませんが、待ってられない、说得してください』、親の手術の同意拒否により亡くなる子どもが確かにいる。私はあわてて大和君のお母さんに連絡し『その子は私がもらいますから安心して同意書にサインしてください』。

特別養子の縁組をして、私が父になりました。大和は1回目の手術を無事に終え関東の病院から大阪の医療センターに転院した。ある日主治医より衝撃的なこと

を告げられた。『心臓の奇形もあり完治はめざしません、生存を目指します』と。私は涙を抑え、全能の神にゆだね、外科医の先生にゆだねて手術の同意書にサインした。心臓を止めての手術は8時間に及んだ。父になる決心の重さを思い知らされた。ならば、私たちの父なる神様はキリストの十字架を通して私たちを自分の子どもにすると決心されたことは、どれほどのことかと思わずにはいられない。私が大和の癒しを願うように、それ以上にわたしたちの全生活の祝福と癒しを本気で願い今も働いておられる。

今大和は自宅で生活できるまでに健康を回復している。依然発達障害、睡眠障害を抱え、座る・立つ・排尿排便のコントロールはできず、お風呂は私の膝の上でじーっと私の顔を見ながら楽しそう。わたしは何度も大和に語り掛ける。『生まれてよかった。あなたはお父さんのたからもの』全能の神は今日もあなたに言われる『生まれてきてよかった。あなたは高価で尊い』。

YMCA Today

■ホテル学校の就職活動は例年に並び好調です。既に約8割の在校生が内定をいただいています。御三家と言われるような老舗ホテルから、外資系ブランドをはじめとした新規ホテルや、京都や沖縄などのリゾートホテルまで、それぞれが希望するホテルに内定をいただいております。また、1年生は夏休みに行くホテル実習先が決まりました。まだまだどんなホテルがあるかもわからない中ですが、夢への第一歩を踏み出そうとしています。スタッフ一同しっかりサポートしていきます。

■「第22回東京YMCA会員大会」が5月24日に開催され、山手センターに88人が集い、5人がオンライン配信を視聴されました。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部

運営委員長の挨拶で第2部を開会。星野太郎総主事から東京YMCAの活動報告があり、2026年度の会員部運営委員が推挙されました。また、吉田明弘氏と香取良和氏が名誉会員に推挙された他、会員部運営委員や震災復興タスク委員長を歴任された小原武夫氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4人のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けました。

第3部では、中期計画策定委員長の上田晶平氏と各委員より中期計画「TOKYO YMCA VISION 150」についての報告がありました。第4部では、クラウドファンディング等の報告に加え、レクリエーションやキャンプソングを楽しみました。会場では、能登半

島地震・豪雨被災者支援のための物産販売を行いました。

■5月末を期限にミャンマー緊急支援募金を実施しました。寄せられた募金はミャンマーのネピドーYMCAに送金を予定。街頭募金実施については下記の通りです。

4/17 高田馬場駅周辺 116,816円
4/22 東陽町駅前 87,324円
5/16 東京駅前 62,648円

担当主事代理 波々壁 賢

編集後記

今月も原稿をお寄せ下さいまして有難うございました。あと2か月で91歳になる神谷会長のご活躍は、ワイズの先輩としての目標です。京都ウェストクラブのメンバー数には刺激を受けたそうです。神谷会長、来期もよろしくお祈りします。(F.S)